

声明文

11月13日、フランス・パリ市で起きた同時多発テロにおいて、犠牲となられた皆様に深く哀悼の意を表します。

市民の安全と福祉を守る責務を負う首長として、我々はいかなる状況においてもこのような行為を決して許すことはできません。

今回の非人道的な無差別テロにより、人々が暮らす街がこのような攻撃に対していかに脆弱な（vulnerable）ものであるかが改めて示されました。もし、非人道兵器の極みである核兵器がテロ組織の手に渡ったときに世界中の都市が陥れられる恐怖は計り知れません。一刻も早く核兵器を廃絶させ、その脅威から市民は解放されなければなりません。

我々平和首長会議は、真に平和な世界を築くことを目指し、世界の約6900の加盟都市と連帯し、全世界の市民社会及び各国政府に我々と共に行動するよう呼びかけます。

2015年11月16日

平和首長会議